

次号予告

事例研究・研究レポート

DEA/WINDOW分析法による電気通信事業者の
経営効率と規模の経済性の比較, 検討
……………末吉 俊幸(オハイオ大)
狭水道における航行環境総合評価のためのエキス
パートシステムの研究…山地 哲也(海上保安庁)
1円入札の損益……………吉岡 茂(東京都)
出荷よりみた在庫補充方式の一考察
……………浪平博人(産能短大)
競合品予測モデルの一考察…浪平 博人(産能短大)
対話形式による不完全一対比較行列からのウェイ
ト計算法…山口俊和(東京理大), 鈴木敦(ソニー)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	若山 邦紘	法政大学
副委員長	浦谷 規	法政大学
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	上野 哲郎	和光大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	木嶋 恭一	東京工業大学
	小池 将貴	筑波技術短期大学
	逆瀬川浩孝	筑波大学
	坂本 善博	富士通㈱
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	吉田 敏弘	ソロモン・ブラザーズ・ アジア証券会社

編集後記 ● 4月は大学や企業における新しいスタートの月でもあります。希望に燃えて新しい1歩を踏み出された方もたくさんおられることでしょう。ところで、今月の特集は「大学入試と大学問題」です。大学受験に端を発する受験競争の影響は、毎日の通勤の帰りに見る、夜遅くの電車の中で、わがもの顔に走りまわっている塾帰りの小学生の集団にまでおよんでおり、これらを見るにつけ、いったい、わが国の教育はどうなるのだろうかという感を深くします。考えるに、これは、教育システムの制定における、OR的発想の欠如がもたらしたものではないかと思考します。今回の特集にとりあげられたような実証的な分析を総合的に考慮していくことが、政策を決定するに当たって必要なのではないのでしょうか？ 教育制度だけではなく、いろいろな政策の決定に、ORがもっともっと力を発揮すれば、もう少し良いシステム(制度)ができるのではと考えるのは、我田引水でしょうか？ (言うはやすく、行なうは難しとは思いますが)

●官庁や大学、企業にかかわらず、最近の新人の職員は細かく指示を与えないと、自分で工夫して動くことが苦手という人の割合が増えているそうです。経歴を尊重して、せっかく自主性を重んじる取扱いをしても、それに答えてくれないのでは、きつい管理をするしかないと嘆いている友人がいました。個性化ということが言われていますが、現実には逆で、皆と同じ行動をしていないと安心できないという生徒や学生が増えてきているという指摘もあります ●改めて言うまでもありませんが、ORはもともと、どうやって解けばよいかわからないような悪構造問題を解決するために生まれてきたものです。今回の特集が、そのような問題に対するチャレンジの一例として、今後のいろいろな問題解決に何らかの参考になりましたら幸いです。

(大村雄史)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成4年4月号 第37巻 第4号 通巻376号

代表者 岡 久 雄

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 若山 邦 紘

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337), 日経弘報社 (3563-2241) へ